

第二十四章 兵站司令部ノ職員

四十六

兵站基地、兵站地及兵站主地ニハ兵站司令部各一個ヲ置ク其
他必要ニ應シ停車場或ハ碇泊場ニモ設置スルヲ得

司令部ニ其定員戰時編制第二十三章ノ外憲兵、軍醫、獸醫、軍吏、
看護長、軍吏部下士及蹄鐵工長ヲ増加スルハ兵站地ノ大小及
任務ノ景況ニ因ルモノトス

兵站司令官右ノ増員ヲ緊要ト思惟スルトキハ其所屬長官(第
二十五章)ニ請求スルヲ得其所屬長官モ亦其必要ヲ認定スル
トキハ之ヲ充足スヘシ

總テ増員ハ其必要ノ事由止ミタル時當該所屬長官ニ復歸ス
ヘキモノトス

0343

小ナル兵站地ニハ別ニ兵站司令部ヲ置カス其地ノ守備隊長
ヲ以テ之ヲ兼掌セシムルヲ得

第二十五章 兵站司令部隸屬ノ關係

第一 兵站司令部ハ自己所在ノ地方ヲ管轄スル陸軍統理者
ヲ以テ其所屬長官ト爲ス

右所屬長官ノ管轄スル地方ノ境界ニ變更ヲ生スルトキハ從
テ兵站司令部ノ所屬官衙モ亦變更スルモノトス然レトモ其
部員ハ兵站司令部廢止ノ令又ハ他ノ命令ヲ受クル迄ハ其職
務ヲ持續シテ執行スルモノトス

第二 兵站司令官ハ其兵站地ニアル停車場或ハ碇泊場司令
官ト同等ノ位置ヲ有シ其職域ハ互ニ相並列シ各自固有ノ職

務ニ因テ其分界ヲ立ツ然レモ此諸官ハ互ニ連絡ヲ保チ協同
一致シ相補助スルヲ任トシ甲乙相要求スル際ニ當リテハ廣
ク公益ヲ計リ不和ヲ生スルコトナク互ニ其責任ヲ盡スヘシ
蓋シ若シ兩官軋轢ヲ生スルトキハ其弊害作戰軍ニ波及スル
モノナレハナリ然レモ若シ兩官ノ意見相合セサルトキハ順
序ヲ經テ裁決ヲ仰クヘシ其裁決ヲ得ル迄ハ先ツ兩官中高級
古參ノ者ノ意見ニ從フモノトス

第二十六章 兵站基地

第一 兵站基地ハ各師團ノ爲メ一個ヲ設置シ通常停車場若
クハ碇泊場ヲ以テ之ニ充テ茲ニ一ノ兵站司令部ヲ設置シ此
地ヲ管理セシム之ヲ兵站基地司令部ト稱シ之ニ當該師團ノ

0345

稱號ヲ冠ス

此地ハ凡テ師管内各地ヨリ野戦軍ニ追送スヘキ諸物件ヲ蒐集シ又野戦軍ヨリ還送セシ諸物件ヲ師管内各地ヘ分配スル爲メ要用ナル地點トス

第二 兵站基地ハ當該セル師管内又ハ他ノ師管内ニ設置スルコトヲ得而シテ其位置ハ當該留守師團司令部師團司令部未タ出征セサル間ハ該司令部以下皆倣之之ヲ確定シ其司令部ヲ設置シ且之ヲ管轄ス

軍隊ヘ追送スヘキ人馬材料ヲ基地ニ集合シ又軍隊ヨリ還送セルモノヲ此地ヨリ分配スルコトヲ監視スルハ留守師團司令部ノ擔任トス又時宜ニ因リ地方官衙ノ協力ヲ要スルモノ

0346

トス

兵站基地ハ一旦撰定シタル後ハ之ヲ變更セサルヲ通則トス
但内國戰ニ在テ作戰上其變更ヲ要スルトキハ此限ニ在ラス
第三 兵站基地ハ許多ナル人馬及物件ノ輻湊スル處ナルカ
故ニ之ニ適應スヘキ大停車場或ハ大碇泊場ナルヲ要シ且其
近傍ニハ宿舍倉庫等ニ充ツヘキ多クノ家屋及廣キ地境アル
ヲ要ス

第四 兵站基地ニハ所要ニ應シ停車場司令部或ハ碇泊場司
令部ヲ設置スルモノトス

兵站基地内ニ於ル汽車或ハ船舶輸送ノ秩序及方法ハ各其業
務ニ關スル條規ニ准據スルノ外尙ホ停車場或ハ碇泊場司令

五十

0347

部ノ設ケタル規定ニ率由スルモノトス又發送スヘキ諸物件
ヲ基地構内ニ過多ニ蒐集堆積スルヲ制裁スルハ留守師團司
令部ノ責任トス

第二十七章 兵站主地

第一 作戰軍ノ所在地ニ通スル鐵道又ハ水路若クハ街道ノ
主點ニシテ作戰軍ニ近接スル位置ヲ撰ミ之ヲ兵站主地ト爲
ス此兵站主地ハ作戰ノ進歩スルニ隨ヒ亦轉進移動スルモノ
トス然ルトキハ從來ノ位置ハ主地ノ名ヲ失フ
兵站主地ノ稱呼ニハ當該作戰軍ノ名稱ヲ冠ズ
第二 兵站主地ハ作戰軍ニ到着スヘキ人馬及諸物件ヲ分配
送達シ又之ヨリ還送スヘキ者ヲ蒐集發送スルコトヲ掌ル所

トス故ニ此主地ニハ左ノ事項ヲ具備スルヲ要ス

五十二

- 一 道路ノ交通便利ナルヲ
- 二 貨物ノ倉庫ニ充テ得ヘキ建築物或ハ之ヲ建築スルニ適當ナル場所アルヲ
- 三 停車場或ハ揚陸場ハ廣濶ニシテ其設備整頓シ又尙ホ廣メ得ヘキヲ
- 四 貨物ヲ搭載及卸下スル器具材料ニ富ムヲ
- 五 人畜ノ飲水及汽罐用ノ水量ニ富ムヲ
- 六 宿舍及厩舎ヲ設クヘキ場所アルヲ
- 七 野戰砲廠及野戰工兵廠ヲ設置スルニ適當ナル場所アルヲ

0349

兵站主地ハ一軍或ハ一獨立師團若クハ一獨立混成旅團ノ爲
メニ一個所ナルヲ通常トス然レモ其地域或ハ交通路等ノ景
況ニ因リ要スレハ之ヲ數個ノ場所ニ分置スルヲ得ヘシ
第三 兵站主地ヲ撰定シ及之ニ必要ナル諸設備ヲ計畫スル
ハ兵站監ノ任務トス
兵站主地ニハ兵站監部ノ占位スルヲ通常トス然ルトキハ同
監部ハ主地ニ於ル諸般ノ設備即兵站司令官(第二十九章乃至
第三十一章)ト同シク人馬ノ宿舍諸物件ノ收藏及其發送ニ關
スル諸設備並其方法ヲ整頓スルモノトス
患者輸送部ノ駐在スル兵站主地ニ於テハ兵站病院ノ外ニ同
部ノ管理ニ屬スル患者療養所及其宿泊所ヲ設置スルモノト

0350

ス

糧食縦列及兵站糧食縦列ニ配附スヘキ物件ノ貯蓄所ハ通常
停車場或ハ碇泊場ノ外ニ設置スルモノトス

各倉庫ヲ設置スヘキ位置ノ撰定並其廣狹ヲ規定スルハ兵站
監督部長ノ任トス

兵站主地内又ハ其近傍ニ於テ物件ノ發送並收藏ニ最モ便利
ナル位置ニ野戰砲廠ノ彈藥貯蓄所ヲ設置シ而シテ速ニ其位
置ヲ當該作戰軍ノ司令部并兵站總監ニ報告スルモノトス
作戰軍兵站主地ヨリ遠ク隔離シ彈藥縦列ノ補充困難ナルニ
至レハ野戰砲廠彈藥ノ一部ヲ需用ニ從ヒ鐵道或ハ船舶若ク
ハ陸路ニ由リ便利ナル場所ニ前進セシメ以テ彈藥中間廠ヲ

0351

設クルモノトス

第四 兵站主地ニハ通常停車場司令部或ハ碇泊場司令部ヲ設置スルモノトス

第二十八章 陸地兵站路及兵站地

第一 作戰軍前進シ兵站主地トノ距離稍遠隔スルトキハ該主地ト作戰軍トノ間ニ於ル運輸交通ヲ維持スル爲メ(鐵道及水路ノ有無ニ關セス)此間ニ陸地兵站路ヲ設置ス而シテ其員數ハ作戰軍ノ大小及其配置ニ因リ一個或ハ數個ヲ設置スルモノトス

第二 作戰軍各團隊布置ノ狀況ニ應シ兵站監ハ各團隊ニ屬スル物件ノ輸送ヲ擔任スヘキ陸地兵站路ヲ定メ且之ニ相應

スル兵站輜重ヲ配置ス

兵站監ハ狀況ニ因リ一個或ハ數個ノ陸地兵站路ヲ監部ノ職員ヲ派遣スルカ或ハ一ノ兵站司令官若クハ監視地區ノ長本章第四ニ命シテ該兵站路ノ擔任スヘキ事務ヲ統轄セシムルヲ得

各兵站路上ニハ若干里(通常三乃至六里)毎ニ兵站地ヲ定メ之ニ兵站司令部ヲ置クモノトス

陸地兵站路ノ數、二個以上相併列スルトキハ兵站監ハ各兵站路ノ管轄ニ屬スヘキ地區ノ側方境界ヲ規定ス又各兵站司令官ノ管轄スヘキ地區ノ境界ハ兵站監之ヲ定メサルトキハ甲兵站地ヨリ乙兵站地ニ至ル距離ノ中央ヲ以テ兩兵站地區ノ

0353

境界ト爲ス又他ノ兵站地ナキ方向ニ對シテハ各司令官適宜ニ其地區ヲ擴張スルヲ得

第三 兵站主地ノ後方地境ニ於テモ情況ニ因リ前項ニ准シ陸地兵站路ヲ設置ス

作戰軍駐留ノ時或ハ尙ホ著ク敵ト遠隔シアル時又ハ甚シク貧寒ナル地方ニ於テ作戰スル時狀況之ヲ許セハ必要ニ應シ作戰軍ノ所在地迄時トシテハ作戰軍ノ前進ニ先チ豫メ其前方ニ迄モ陸地兵站路ヲ延長スルヲ得ヘシ此末項ノ場合ニ於テハ特ニ一部隊ヲ以テ兵站路ヲ掩護スルヲ要ス

第四 陸地兵站路甚シク延長スルトキハ兵站監ハ大凡兵站地六個乃至十個毎ニ或ハ兵站管區ノ一地方ニ一ノ長ヲ置キ

以テ其兵站業務ヲ監視統轄セシムルヲ得此ノ監視地區ノ長
及其屬員ハ特ニ設置スヘキモノニシテ通常任地ナク且古參
司令官ヲ有スル一兵站司令部ヲ以テ之ニ充ツル者トス

第五 兵站地ニハ通常行軍々隊或ハ往來スル人馬ヲ宿泊セ
シメ及之ヲ給養スルノ設備ヲ爲シ其他必要ニ應シ貨物倉庫、
戰地定立病院、兵站病院、患者宿泊所等ヲ設置スルモノトス
兵站路ノ延長三乃至四日行程毎ニ勉メテ大ナル市村ヲ撰ミ
テ兵站地トシ以テ行軍々隊ニ休憩ヲ與フルノ所ト爲スモノ
トス

第二十九章 兵站司令部ノ業務

第一 兵站司令官ハ其管區内ニ於テ左ノ事項ヲ處理シ之ヲ

0355

シテ澁滞ナカラシムルヲ以テ任務トス

一 追送、還送スヘキ諸軍需品及還送患者ヲ運搬スル

二 作戰軍ニ往復スル交通ヲ媒介スル

三 水陸ノ交通路、電信線、諸軍用材料並通信、輸送ヲ警備

スル

四 地方ノ靜謐ヲ維持スル

兵站司令官ハ右ニ掲ケシ任務上、要用ナル物資及材料ハ可成
後方或ハ本國ヨリノ追送ニ藉ラス其管區内ニ於ケル地方ノ
者ヲ以テ之ヲ辨スルコトニ努力スヘシ故ニ兵站部ニ屬スル
職員及兵站路ヲ通過スル人馬ノ給養ニ供スヘキ糧秣並諸般
ノ運搬ニ充ツヘキ材料ハ成シ得ル限り其地方ニ於テ蒐集準

備シ以テ縱令追送品或ハ兵站輜重等ニ欠クル所アルモ其業務ヲシテ澁滞ナカラシムルヲ期スヘシ

第二 兵站司令官ニ屬スル守備隊ニ勤務ヲ命シ又ハ地方鎮壓ノ爲メ軍隊ヲ派遣スル等凡テ之ヲ適當ニ使用スルハ該司令官ノ任務トス又該司令官ハ必要ニ際シテハ守備隊ヲ以テ水陸輸送ノ監視或ハ護衛ニ使用スルコトヲ得

兵站管區内ニ兵站倉庫ヲ建設スルモ又兵站司令官ノ任務トス其大小員數位置及充實スヘキ物資並之ヲ地方ヨリ蒐集スルカ或ハ追送品ニ藉ルヘキカ等ハ其時ノ訓示ニ從フモノトス而シテ之カ爲メ要用ナル職員ハ兵站監ニ申請スヘシ

兵站司令官ハ運輸通信ノ諸官衛又ハ當該野戰軍ニ關連スル

0357

留守諸官衙ヨリ直接ニ輸送通信ノ請求アル時モ亦之ニ應ス
ヘキモノトス

第三 兵站司令官ハ何等ノ口實アルモ兵站勤務ニ使用スル
爲メ決シテ獨斷ヲ以テ通行ノ軍人軍屬及軍馬並軍用諸材料
ヲ留止スルヲ得ス

然レモ俄然襲來セル敵兵或ハ土寇等ニ對シ兵站線路上ニ大
危害ヲ加ヘラル、ノ虞アリテ其管轄内ニ在ル守備隊ヲ召致
シ或ハ兵站監又ハ監視地區ノ長ノ指揮ヲ乞フノ暇ナキトキ
ハ自己ノ責任ヲ以テ其管轄内ニ在ル軍隊ニ限リ(軍隊ノ長將
校ナルトキハ其同意ヲ得ルヲ要ス)一時使用スルヲ得然ルト
キハ可成速ニ之ヲ兵站監ニ報告シ且該軍隊ヲ通行セシムル

0358

ノ處置ヲナスヘシ

凡テ單獨ノ下士兵卒及軍屬ニシテ兵站地ニ滞留スル者アラハ常ニ之ヲ監視シ已ムヲ得サルニ非サレハ長ク滞留セシム可ラス

第四 凡テ兵站地又ハ其管區内ニ在ル人馬ノ給養ハ兵站司令官ノ任トス但鐵道ニテ通行スル軍隊ノ停車場ニテ爲ス給養ハ停車場司令官ノ任トス然レモ物資ノ準備ニ關シテハ時宜ニ因リ兵站司令官之ヲ補助スルヲ要ス多數ノ人馬一時ニ輸送セラル、時殊ニ然リトス

第五 兵站司令官ハ其管區内ニ兵站病院ヲ設置スルヲ必要ト認メタルトキハ軍醫及衛生材料ヲ兵站監ニ稟請スヘシ凡

0359

ヲ病院ニ要スル給養及運搬力等ヲ供給スルハ兵站司令官ノ任トス

兵站病院ハ人事及衛生事務ヲ除クノ外兵站司令官ノ管理ニ屬スルモノトス

兵站地ニ於テハ常ニ通行スル患者等ヲ宿泊セシムルノ準備ヲ爲スヲ必要トス又後送患者ヲ遲滞ナク運搬シ及之ニ宿營給養ヲ與フルモ亦兵站司令官ノ任トス

右ノ外衛生ニ關スル事項ハ戰時衛生勤務令ノ規定ニ從フヘシ

第六 兵站司令官ハ大隊長ト等シキ懲罰權ヲ有ス

兵站司令官ハ其管區内ニ於ル非違ノ行爲ヲ豫防スルコトヲ

勉ムヘシ之カ爲メ適宜ノ規則ヲ設クルヲ要ス又住民ヨリ請願アレハ正理ニ從ヒ勉メテ速ニ之ヲ處分スヘシ

兵站司令官ハ其管区内ニ於テ陸軍々人及軍屬ノ犯罪者アルトキハ檢察處分ヲ爲シ陸軍治罪法ニ據リ處理スヘシ

通行スル軍隊ノ下士兵卒ニシテ懲罰令ニ該當スル犯者アル時其指揮官將校ナレハ兵站司令官之ニ犯狀ヲ通報シ若シ犯者指揮官ナルカ或ハ指揮官下士兵卒ナル時ハ兵站司令官ハ之ヲ犯者ノ直屬長官ニ報告スヘシ凡テ犯者ノ通報ヲ受ケタル長官ハ其處罰シタル結果ヲ當該兵站司令官ニ通報スルノ義務アルモトス

又犯罪者海軍ノ軍人及軍屬ナルトキハ兵站司令官ハ其犯狀

0361

ヲ添ヘ之ヲ其附近ニ在ル軍港、要港司令部若クハ艦隊ニ送致
シ其處分ヲ爲サシムヘシ而シテ軍港司令官等ハ其處罰ノ結
果ヲ通報スルコト前項ニ同シ

兵站司令官ハ警察ノ能ク其管區内ニ行ハル、コトニ協力ス
ヘシ敵國ニ在テハ自ラ其事務ヲ掌ルモノトス

兵站司令官ハ又其管區内ノ軍紀、風紀ヲ維持スル爲メ兵站監
ヨリ分屬サレタル憲兵ヲ使用スヘシ

第七 兵站司令官ハ敵國ニ在テハ兵站監ノ意圖ヲ承ケ其管
區内ノ民政ヲ管知ス之カ爲メ其地方ノ事情ヲ熟知スル住民
ヲ以テ行政ニ參與セシムルトキハ統治容易ニシテ便益多シ
トス

兵站司令官ハ軍稅ヲ賦課シ若クハ罰款トシテ金圓ヲ徵收ス
ル等ノ權ヲ有セス但兵站監ヨリ特ニ命令アルトキハ此限ニ
在ラス

徵發ハ徵發令並作戰軍司令官ノ特ニ設ケタル規定ニ據リ作
戰軍司令官ノ名ヲ以テ其管轄區内ノミニ行フモノトス又之
ヲ行ヒタルトキハ之ヲ報告シ其使用法ヲ決算上ニ證明スル
ヲ要ス

第八 兵站司令部副官ハ兵站司令官ノ意圖ヲ遵奉シ該司令
部ニ關係セル庶務ヲ整理ス兵站司令官事故アルトキハ其事
務ヲ代理ス

第九 兵站司令部附憲兵ハ兵站司令官ノ命ニ從ヒ當該兵站

0363

司令部管區内ノ風紀ヲ維持スルヲ以テ其任トス之カ爲メ殊
ニ兵站路上ヲ通行スル單獨ノ下士、兵卒、軍屬、人夫等ヲ監視シ
又地方ノ警備及警察事務ヲ補助スルモノトス
第十 兵站司令部附軍醫ハ兵站司令官ニ隸屬スト雖モ職務
上ニ關シテハ兵站軍醫部長ノ統轄ニ屬シ其任務ハ野戰衛生
勤務令ノ條規ニ從フモノトス
第十一 兵站司令部附軍吏ハ兵站司令官ニ隸屬シ金錢ノ出
納決算ニ任シ且給養品ヲ蒐集シ及之ヲ管理シ並當該兵站管
區内ニ於ケル給養事務ヲ擔任ス
又兵司令官ノ命令並兵站監督部長ノ訓示ニ依リ兵站倉庫ノ
建設ニ任シ其物件ヲ充實シ並之ヲ管理スルモノトス其他凡

0364

ヲ野戰糧餉部勤務令ノ條規ニ從フモノトス

六十八

第三十章 兵站司令部事務細則

第一 兵站司令官ノ其任地ニ就クヤ先ツ確實ニ事務ヲ處理スル爲メ諸種ノ設備ヲ爲スヘシ即チ司令部ヲ首要ナル道路上(市場等)ノ家屋ニ置キ次ニ通行者成シ得レハ將校ト下士以下トヲ區別シノ宿舍、厩舎、倉庫及患者宿泊所等ノ設備ヲ爲スヘシ

兵站司令官ハ敵國ニ於テ其任地ニ到着スルヤ直ニ其管内ノ戸口及牛馬車輛數并物資ノ多寡ヲ調査シ之ニ據リテ徵集シ得ヘキ諸物件ヲ規定スヘシ又住民ノ所有スル兵器ヲ攬收スヘシ若シ住民我命ニ應セサルカ或ハ之ヲ隱匿スルカ若クハ

0365

逃走ヲ企ツル者アラハ適當ニ之ヲ處分スヘシ此ノ如キ場合
ニ於テ住民抵抗スル景况アルトキニ處スヘキ方法ヲ豫メ考
定シ置クヲ要ス

兵站司令官ハ任地到着後成ルヘク速カニ管内ノ略圖ヲ製シ
之ニ司令部倉庫守備兵ノ配布宿泊地等ヲ記載シ管内物資ノ
數量表ヲ添ヘ兵站監ヘ監視地區ノ長アレハ同長ヲ經テ報告
スヘシ

第二 兵站司令部ハ追送及還送スヘキ軍需品ニシテ其司令
部ニ貯藏保管スヘキ者ノ外ハ直ニ發送シ停滯セシメサルヲ
期スヘシ

之カ輸送ニ要スル人馬車輛等ハ兵站監部ヨリ供給スヘシト

雖_レ多クハ其地方ニ於テ之ヲ徵集スルモノトス之カ爲メ輜
重監視隊ヲ基幹トシテ倉庫縦列ヲ編成ス若シ監視隊ヲ配與
セラレサルカ或ハ其力不足ナル時萬已ムヲ得サレハ守備隊
ノ一部ヲ以テ之カ監視ニ充用スルヲ得ヘシ

總テ輸送軍需品ハ毀損紛失ヲキテ期スヘシ之カ爲メ輸送中
ニ於テハ倉庫縦列長或ハ特ニ輸送ノ指揮ニ任セラレタル者
其監視ノ責ニ任スト雖トモ兵站司令部モ亦其責任ヲ負フモ
ノトス故ニ途中物件ノ毀損紛失殊ニ故意ヲ以テ輸送材料ヲ破
毀シ或ハ捆包毀損スル等ノ者ヲ豫防スルノ方法ヲ設クヘシ
兵站司令部ハ輸送スヘキ物件ノ毀損紛失ヲ豫防スル爲メ送
狀附表第一號ヲ調製シテ輸送指揮官ニ與ヘ之ヲレテ物件ト

0367

共ニ到着スヘキ司令部ニ送附セシムルモノトス故ニ輸送指揮官ハ初メ物件ヲ受領スル時此送狀ト品目トヲ查照スヘシ物件ヲ受領スヘキ兵站司令部モ亦送狀ニ照シテ之ヲ受領シ其品目ノ完備或ハ缺損ノ員數ヲ送狀ノ受領書ニ記入シ之ヲ輸送指揮官ニ返附シ同官ヲシテ之ヲ發送セル兵站司令部ニ携へ歸ラシムヘシ

送狀ニハ發送及受領ノ司令部各其責任ヲ明カニスル爲メ司令部ノ官印ノ外物件ノ搭卸ヲ監視シタル將校ノ檢印ヲ要スルモノトス

第三 凡テ陸路鐵道或ハ船舶ニテ兵站線路ヲ往復スル部隊及單獨者ハ軍用旅券ヲ携帶シ以テ宿舍其他ノ給養ヲ受クヘ

0368

キコトヲ證スルモノトス

軍用旅券(附表第二號)ハ部隊等ヲ派遣スヘキ官衙或ハ團隊ニ於テ調製シ且其責任ヲ負フモノトス又要スレハ之ヲ兵站基地司令部若クハ近傍ノ兵站司令部ニ請求スルヲ得ヘシ之カ爲メ官衙或ハ團隊ハ派遣スヘキ人員馬匹及行進中特ニ供給スヘキ人馬車輛等並其送達スヘキ目的點ヲ掲ケタル證明書ヲ其高級古參ノ者(單獨者ニハ本人)ニ與ヘ之ヲシテ兵站司令部ニ請求セシムヘシ然ル時兵站司令部ハ此ノ請求ニ基キ軍用旅券ヲ交附スルモノトス

軍用旅券ヲ發スル者ハ之ヲ調製スルニ際シ行進スル部隊等ニ途中ニ於テ人馬車輛等ヲ過分ニ供給セサルコトニ注意ス

七十二

0369

ヘシ

軍用旅券中ニ掲載シ在ル人馬ノ員數等ニ差異ヲ生シタルト
キハ兵站司令部ニ於テ其旨ヲ記入シ之ニ署名捺印スヘシ
兵站司令官ハ通行スル部隊ノ人馬等ヲ軍用旅券ニ掲載シ在
ル者ト對照確認スル爲メ隨意ノ時ニ於テ其部隊等ヲ検査ス
ルコトヲ得

總テ兵站司令部ハ(要スレハ運輸通信官衙ノ協力ヲ得テ)作戰
軍ト兵站基地トノ間ヲ往復スル部隊及單獨者ヲ其携帯スル
軍用旅券ニ依リ便宜通行セシムルノ責任ヲ有ス

第四 一部隊兵站線路ヲ通過スル時發起點ノ兵站司令部ハ
其人馬ノ員數到着地其他所要ノ事件ヲ速ニ次ノ兵站司令部

0370

ニ豫報ス而シテ豫報ヲ受ケタル司令部ハ順次之ヲ遞報スル
 ノ義務ヲ有ス又人馬ヲ發送セントスル團隊等モ亦同ク之ヲ
 速ニ發起點ノ兵站司令部ニ豫報スルヲ要ス但人馬寡少ナル
 モノハ此限ニ在ラス
 俘虜ノ輸送ヲ爲ストキハ發起點ノ兵站官衙ハ其都度之ヲ速
 ニ陸軍省ニ豫報スヘシ
 第五 軍隊或ハ官衙等ノ證憑ナクシテ兵站路外ヲ徘徊スル
 軍人軍屬若クハ疑アル者ハ直ニ兵站司令部ニ引致シ其實
 ナ審理シ場合ニ因リ第二十九章第六ノ規定ニ從ヒ之ヲ處分
 スヘシ軍人及軍屬ハ軍部官憲ノ軍用旅券或ハ證明書ヲ所持
 セスシテ兵站線路ヲ通行スルヲ許サス且軍用旅券中ニ定ム

. 0371

ル所ノ經路ヲ猥リニ自己ノ意見ヲ以テ變更スヘカラス
第六 一部隊或ハ一支隊ノ指揮官及單獨ノ軍人軍屬ハ兵站
地ニ到着後直ニ兵站司令部ニ届告スヘシ其人若シ司令官ヨ
リ高級古參ナルトキハ人ヲシテ届告セシムルヲ得
一部隊ニシテ兵站管區ニ近邇シ或ハ兵站路ニ沿ヒ或ハ之ヲ
横貫シテ行進スルモノハ亦其地方ノ兵站司令部ニ通知シ以
テ其幫助ヲ受ケシムルヲ得
軍隊若シ正當ナル徵發書ナクシテ兵站管區内ニ於テ徵發ヲ
行ヒ得ルハ唯萬已ヲ得サル場合ニ於テ其隊目下缺クヘカラ
サル需用品ノミヲ補フニ限ルヘシ若シ其範圍ヲ出ルトキハ
兵站司令官ハ禁令ヲ犯ス者トシテ之ヲ告發スヘシ

第七 一ノ兵站管區内ニ馬廠ノ設置アルトキハ當該兵站司令官ハ之ヲ統轄シ且之ニ宿舍及給養ヲ供給スルモノトス又該司令官ハ其役員ヲ監視シ廢馬ヲ競賣シ全癒セル馬ヲ其本隊若クハ其所有者ニ送致シ又斃馬或ハ賣却セル馬ノ裝具ハ(之ヲ健馬ニ使用スルヲ得サルモノヲ除キ)其補充隊ニ還送スルカ或ハ馬若シ將校軍屬ノ所有ニ係ルトキハ該將校等ヲ送致スヘシ

第八 兵站司令部ハ毎月一日十一日及二十一日調ニテ旬報附表(第三號)及之ニ一旬中ニ發生シタル諸件及處置シタル事項ヲ簡明ニ記載シ兵站監ニ報告スヘシ

兵站司令部ハ毎月六回(一、六、十一、十六、廿一、廿六日調)糧秣、金錢

0373

及貨物報告(附表第四號)ヲ製シ兵站監ニ出スヘシ

監視地區ノ長ノ設置シ在ル場所ニ於テハ以上ノ諸報告ハ此
長ニ呈出スルモノトス

監視地區ノ長ハ以上ノ諸報告ヲ纏メ之ニ自己ノ處理セシ事
項ノ概況並該司令部ノ人馬現員表ヲ添ヘ兵站監ニ出スヘシ
兵站司令部ハ右ニ掲ケタル書類ノ外、又其施行セル物量ノ調
達ト徴發トノ表ヲ製スヘシ此表ニハ調達セル品種及數量、納
入、受領人需用ノ原由、賠償代價、支出資金等ヲ明瞭ニ記載スル
モノトス又軍稅ノ收入ト支出トニ關シテハ別ニ區分シテ決
算記載スヘシ

第九 兵站管區ヲ通行スル軍隊等ノ宿泊ニ供用スル爲メ其

區内ノ每家屋ニ宿シ得ヘキ人馬數ヲ調査シ宿舍一覽表ヲ製
 シ表中ニハ家屋ノ景況及配宿ノ順序等ヲ明記スヘシ又常ニ
 多數ノ舍營券ヲ司令部ニ貯ヘ置クヲ要ス
 人ノ住居セサル各家屋ノ器具戸障子等ハ總テ取締法ヲ設ケ
 毀損紛失セサラシムヘシ此取締法ハ冬季嚴寒ノ候ニ於テ殊
 ニ緊要ナリトス
 守備兵タル諸隊ハ其地ノ一區部ニ屯在シ而シテ通行スル軍
 隊等ハ他ノ區部ニ宿泊セシムヘシ
 住民ヲシテ通行スル軍隊ノ兵力ヲ知ラシメサルヲ要スルト
 キハ舍營券ヲ配與セス而テ其地ノ一區部ヲ全ク軍隊ニ交附
 シ宿泊ノ用ニ供スヘシ

0375

傳令使ノ宿舍用ニハ常ニ特別ノ家屋ヲ備ヘ以テ單獨ノ下士
兵卒及馬匹ヲ至急ニ宿泊セシメ又俘虜及犯罪人ヲ容ルヘキ
場所ヲモ調辨シ置クヲ要ス

若シ時宜ニ因リ軍隊ヲ兵站地ニ宿泊セシメ難キトキハ其司
令官ハ當該兵站管區内ニ在ル家屋ニ宿舍ヲ分配シ其配賦表
ヲ製スヘシ此配賦表ハ地方吏ト其宿舍スヘキ軍隊トニ成ル
可ク速ニ通報シ以テ其隊ヲシテ迂路ヲ取ルノ煩勞ヲ免レシ
メ且速ニ宿舍ノ準備ヲ整ヘシムヘシ

第十 軍人及軍屬ハ兵站司令部ノ舍營券(附表第五號)及供給
券(附表第六號)ナクシテ兵站地或ハ其管區内ニ於テ宿舍(給養
品及車馬ヲ得ルコト)能ハス但兵站司令部ヨリ特別ナル方法

ノ指定アル時ハ此限ニ在ラス

舎營券ハ宿泊人ノ舎主ニ要求スヘキ事項ヲ詳記スルモノト
 ス又倉庫ヨリ糧秣ヲ受領スルニハ其各供給券ヲ要スヘク病
 院或ハ囚禁所ニ入ル、ニモ亦同様タルヘシ(附表第七號)而シ
 テ此舎營券及供給券ハ舎主及倉庫等ノ爲メニ受領證ノ用ヲ
 爲スモノトス

第十一 兵站司令部ハ凡テ通行人ニ供給スヘキ給養諸物品
 ノ品質及分量ニ關シ常ニ能ク注意シテ良好及充分ナラシメ
 且給養ハ爲シ得ル限り宿舍給養ヲ爲サシムヘシ
 行進スル軍隊ニ與フル休日ハ兵站監部ニ於テ兵站地ノ中殊
 ニ之ニ適當セル地(大ナル市町村)ヲ指定シテ之ヲ爲サシムル

0377

モノトス

第十二 兵站地ニ幅濶スル諸輸送物件及單獨ノ軍人軍屬將校及之ニ相當スル諸官ヲ除クハ成ル可ク之ヲ一團隊ニ結合シ一人ノ指揮官ヲ定メ之ニ軍用旅券ヲ與ヘ以テ行進セシムヘシ此指揮官ハ即チ此一團隊ノ長官タルモノトス

兵站司令官ハ此ノ如キ方法ニ依リ輸送法ヲ確實ニスル爲メ單獨ノ下士兵卒等ヲ四十八時間内ハ兵站地或ハ其管区内ニ留止スルコトヲ得

第十三 兵站司令部ハ輸送指揮官ノ請求ニ應シ道路ヲ熟知セル嚮導者ヲ出シ次ノ兵站地マテ至ラシムヘシ

又兵站司令部ハ其管区内ニ於ル兵站路上ノ各岐分點ニ路標

0378

ヲ立テ以テ通行人ノ辨識ニ供スヘシ

第十四 兵站司令官及司令部ノ署名ハ次ノ規定ニ依ルヘシ
 人事ノ進達報告命令訓令等ニ屬スル書類ニハ某地兵站司令
 官ト記シ之ニ司令官ノ官印ヲ用ユ

其他ノ書類ニハ某地兵站司令部ト書シ之ニ司令部ノ官印ヲ
 用ヒ而シテ其事ヲ擔任シタル將校ノ檢印ヲ捺シ以テ其責任
 ナ明ニスヘシ

凡テ司令官或ハ司令部ナル署名ニハ某軍或ハ某師團又ハ混
 成第何旅團若クハ某占領地總督部又ハ某兵站監部ナル頭書
 若クハ肩書ヲ附スヘシ

第十五 兵站司令部ヲ閉鎖スル時ハ諸規則書及官印等ハ其

0379

司令部ニ保存シ其解散スル時ハ右ノ諸品ハ別命アルニ非サ
レハ當該留守師團司令部ニ還納スヘシ但其業務執行中ニ集
積シタル公文書類等ハ閉鎖或ハ解散スル當時ニ於ケル所屬
官衙ニ納付スヘシ

第三十一章 兵站地内部ノ設備

第一 兵站地ノ入口ニハ諸人ヲシテ認識シ易カラシムル爲
メ司令部、病院、倉庫、郵便局、電信局等ノ所在ヲ揭示シ又此等ノ
家屋前ニハ各其名ヲ標示シ且兵站司令部ニハ晝ハ國旗ヲ掲
ケ夜ハ紅燈或ハ提灯ヲ點シテ標示スヘシ
兵站地内ノ街道中諸人ノ注目シ易キ場所ニ路標ヲ建テ之ニ
次ノ兵站地及最近ノ市府並之ニ至ル距離ヲ揭示スヘシ

0380

兵站地内ノ要點ニ風紀衛兵ヲ設ケ必要ニ應シ哨兵ヲ配置ス
ヘシ哨兵ハ司令官ノ宿舍ヲ熟知スルヲ要ス

第二 兵站地ノ警備及警察ヲ確實ニスル爲メ巡察勤務ヲ設
クヘシ及守備兵ヲ迅速且靜肅ニ警急集合場ニ集ムルノ方法
ヲ練習スヘシ

若シ敵兵兵站地ヲ襲ハントスルノ虞アル時ハ守備兵ノ兵員
ニ應シ小哨ヲ配布シ斥候ヲ出シ且入口ニ阻絶ヲ設置スヘシ
若シ兵員多カラサルトキハ防禦工事ヲ施シ以テ持久防禦ノ
方法ヲ設クヘシ又住民ノ人質ヲ取ルトキハ敵兵或ハ住民ノ
暴動ニ對シ永ク其地ノ防禦ヲ維持スルヲ得ヘシ

第三 倉庫ニハ乾燥ニシテ物品ノ貯藏出納ニ便利ニ且之ニ

0381

良好ノ道路アル建築物ヲ撰フヲ要ス

作戰軍ニ追送スヘキ食用畜類ノ爲メ其繋畜場又成ル可クハ
牧場ヲモ兵站地ニ準備シ以テ畜類ノ飼養ニ注意スヘシ

第四 火藥庫及彈藥車等危險物ヲ置クニハ特ニ注意シテ適
當ノ場所ヲ撰フヘシ

砲車、彈藥車並縱列ノ車輛等ハ兵站地内ノ混雜ヲ防ク爲メ可
成其近傍ニ於テ更ニ行進ヲ始ムルニ便ナル地ニ置クヲ可ト
ス

第五 郵便物及急達ヲ要スル書類等ヲ遞送スル爲メ其方法
ヲ設クヘシ之カ爲メ陸路ニ在テハ驛傳ノ法ヲ設ケ人馬及車
輛ヲ準備スルヲ可トス郵便物ヲ速ニ遞送スルコトハ兵站司

令官ノ特ニ注意スヘキ事項トス

第三篇 鐵道及船舶輸送業務

第一 戰時鐵道及船舶ノ輸送ハ作戰ヲ直接ニ補助スルノ外
尙後方連絡線トシテ兵站業務ヲ實行スル爲メ最モ緊要ナル
方法トス

鐵道及船舶ノ輸送ヲ兵站業務ノ爲メニ使用スル時ト雖兵站
部ノ諸職員ハ毫モ其業務ニ干與スルノ權ナク又決シテ之ニ
干與セサルモノトス唯戰時輸送令ノ規定ニ依リ之ニ對シ輸
送ヲ請求シ得ルノミ

然レモ特別ノ場合ニ於テ一ノ作戰軍ニ其動作地方ニ於ル鐵
道或ハ船舶ノ使用ヲ專任スルコトアルヘシ然ル時ハ通常之

0383

ナ該作戰軍兵站監ノ統轄ニ屬スルモノトス
一ノ作戰軍ニ屬スヘキ鐵道或ハ船舶ノ業務員及其材料ノ員
數大小ハ其時ノ狀況ニ應シテ規定セララルヘキモノトス
第二 鐵道或ハ船舶業務ヲ管理スヘキ兵站監ハ該業務ト兵
站業務トヲ統轄スルコト恰モ兵站總監ニ於ルカ如クナルヘ
ク而シテ同監ノ該業務員ニ對スルノ職權ハ兵站業務員ニ對
スルト同一ニシテ又該業務員ノ當該兵站監ニ對スル責任及
義務ハ運輸通信長官ニ對スルト同一ナルモノトス
該兵站監ハ鐵道及船舶ノ輸送業務並其人員材料ノ事項ニ關
シテハ運輸通信長官ト直接ニ交通スルモノトス
鐵道或ハ船舶ノ輸送業務實行ノ方法ハ總テ戰時輸送令ニ准

據スヘキモノトス故ニ兵站監ハ之ヲ其配下ニ有スル時ト雖
 輸送一般ノ任務ヲ該業務ノ長官或ハ管理者ニ命スルノミニ
 シテ其内部ニ於ル實施方法ニ干與スルコトナシ是レ輸送業
 務殊ニ鐵道運行ハ規正ニシテ且其力ニ適應スルニ非サレハ
 其効力ヲ發揚スルコト能ハサルノミナラス反テ危險ニ陷ル
 ヘキヲ以テナリ

第三 鐵道材料中輕便鐵道ヲ用ユルトギハ上陸地點或ハ普
 通鐵道ノ終末點(兵站主地)ヨリ軍需品ヲ前進スル作戰軍ニ追
 送スル爲メニ大ニ便益トスル所ナリ故ニ兵站主地新ニ決定
 セハ輕便鐵道ヲシテ此地點ヨリ直ニ作戰軍ノ前進ニ從ヒ之
 ニ附隨シテ築設セシムルヲ要ス然レモ此築設及運行ヲ以テ

0385

普通鐵道及陸路ノ交通ヲ妨害セサルコトニ注意スヘシ

兵站勤務令畢

八十九

0386